

グループの旗

推進事務局コース:

グループNo : 1

グループのネーミング
セブティバー ファイブ

シンボルマーク



発表資料1

グループ名: セブティバー
ファイブ

2025 年 9 月 24 日 ~ 25 日

チーフアドバイザー
熊谷 哲也
アドバイザー
望月 寛真

メンバーと役割分担			
No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	加藤 幸次	TBロジスティック株式会社
2	時間係		
3	書記1	横山 永門	株式会社トヨタエナジーライズ
4	書記2	吉田 幸司	日本車輛
5	発表者	鈴木 武夫	トヨタ紡織株式会社
6	質問者	杯 晃司	株式会社アイシン福井
7	5S責任者		
8			

グループの決め事		評価
①	意見の否定をしない	○
②	笑顔で楽しむ	○
③	白紙に描かれたものを 見つける	○
④	意見をしっかり出す	○
⑤		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	加藤	杯	鈴木	横山	吉田			ワード		根拠	選んだもの
①	2	1	2	1				自主性	サークルの自主性を高める	基本理念であり お性のため	◎
②	1	1	2	1				教育	サークルリーダーの 運営能力を教育する		
③		1						情報 収集	最新の動向も把握する		
④		1	1		1			分析	サークルの強み・弱みを 分析する	効果的な成長 につながるため	○
⑤		1		1				知識	事務局の知識を豊富にする		
⑥	1							進捗 管理	サークルの進捗を管理する		
⑦	1		1	1	2			伴走	サークルのレベルアップに アドバイスを提供する	サークルの成長に 成功体験	○
⑧				1	2			信頼	サークルとの信頼関係を 構築する		
⑨											
⑩											

活動推進マトリックス表

発表資料3

グループ名: センター・ファイブ (16)

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 サークルの自主性を高める	2 サークルの強み・弱みを 分析する	3 サークルのレベルに アドバイスを提供する
現状の姿	・成長体験・社内サークルの場を設けている ・定期的な活動・進捗のフォロー ・外部発表会の見学	・評価指標を定めている ・レベル把握後のフォローができていない ・各サークルと十分な関係が築けていない	・サークル数が増え、細かなニーズのフォローができていない ・日常的な対話でのアドバイス ・サークルのレベル感に入り込んで確認する ・進捗や悩みを可視化
問題点 (課題) 2つに絞り込む	・QCサークルの活動成果が認識できていない ・フォローが「ただ」でやりやすさを産んでいる	・レベル評価に留まっている ・関係が弱く、アドバイスを浸透できていない	・サークル数が増え、個別対応ができていない ・吸いあがる関係づくり(関係が弱い)
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	・腹落ちできる計画の宣言(結果)と進捗の見える化 ・活性化している優秀サークルに近い立場で組合せて見学会も展開	・自己評価の確からしさを検証する ・分析手法の習得 ・リーダーとの面談	・レベルに応じて入り切りの明確化(時期・回数・方法) ・関係づくりに向けたトラブル対応やサポート

グループ討論振りかえり表

発表資料4

グループ名: セブティンバ-

ファイブ
(14)

◆グループ討論を振りかえり

- ・グループ員それぞれが積極的に意見を出し、議論を充実させることができた。
- ・沢山の意見を否定することなく理解し、建設的な議論につながれた。
- ・笑顔で活発な議論を行い、自らで活かすことのできるポイントを見つけられた。
- ・他社の取りくみ、やり方を知ることができた。

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名	アイシン福井	氏名	林 晃司
身近で活性化している集団に学ぶ機会を仕掛けてもらう!			
会社名	株式会社トヨタエナジー	氏名	横人 永門
事務局として、QC活動の意義を浸透させ、さらなるレベルアップにつなげる。			
会社名	日本車輛製造	氏名	吉田 幸司
自主性向上のために実情に合わせたスローで目的意識を養う			
会社名	TBロジスティクス	氏名	加藤 幸多
各サークルの活動の現状を把握し、活動意欲を向上させる取り組みを実施していきます。			
会社名	トヨタ紡織(株)	氏名	鈴木 武大
自主性を向上させるため、各サークルの実態に合わせたサポートを行い、改善レベルの向上につなげます。			
会社名		氏名	

グループの旗

推進事務局コース:

グループNo : 2

グループのネーミング

チーム昭和

シンボルマーク



発表資料1

グループ名: チーム昭和

2025年9月24日~25日

チーフアドバイザー

熊谷 哲也

アドバイザー

若山 和彦

メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	岩崎 寛道	(株)トヨタカスタマイジング
2	時間係		
3	書記1	千葉 朋美	(株)デンソー
4	書記2	上園 辰弥	(株)アイシン
5	発表者	高橋 章一	日本車輛製造(株)
6	質問者	松原 道男	オークマ(株)
7	5S責任者		
8			

グループの決め事

		評価
①	皆で楽しく	🌸
②	積極的に発言する	○
③	意見を否定しない	○
④	何でも発言OK!	○
⑤	時間を守る	△

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	岩崎	上園	高橋	松原	千葉			キワード		根拠	選んだもの
①	年間の活動計画を立案する	サークル活動計画・展開	スケジュールを明確にする	年間計画立案能力	年間計画をいかり立てる			活動の年間計画	年間計画を立案する	活動を停滞させない為	◎
②	サークルに合せて日程調整する							進捗の日程調整	進捗に合わせて詳細日程を調整する		
③	活動もろいぽっていけるカリスマ性							リーダー力	サークル活動を活性化させる		
④		Q(サークルリーダー勉強会を行う	Q(手法を学ぶサークルで提供	サークルレベルに底じた指導教育をする	教育体制を充実させる			教育体制	教育の機会を提供する	全体のレベルUP(チーム個人解決力)	○
⑤		活動事例発表会を開催する						企画運営	発表の場を提供する		
⑥		サークルレベル把握をする		サークルレベル診断をする				レベル把握	サークル全体のレベル把握する		
⑦		レクリエーション活動を展開する						コミュニケーション	団結力を上げる場を提供する		
⑧			良い活動内容を展開する		情報提供			横展開	社内外のQに活動にアテをえる		
⑨			困り事と解決	サークルに助言する	困った時にアドバイス			相談役	事務局の力量を上げる	事務局のレベルが低いと相談役にない	○
⑩				サークルに関心を示す	サークル現地会合に参加する			寄り添う	現物、現物での情報収集		

活動推進マトリックス表

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 年間計画を立案する ① ~ ⑨	2 事務局の力量を上げる ① ~ ⑧	3 教育の機会を提供する ① ~ ⑩
現状の姿	① 年間の活動計画を 具体的に立案出来ていない。 ⑨	① 事務局としてレベルアップする プランが無い。 ⑧	① 研修案内は展開しているが 具体的な内容まで出来ていない。 ⑩
問題点 (課題) 2つに絞り込む	①② 計画を立案する時に 深掘り出来ていない。 ③ 推進事務局の役割を 理解出来ていない。	①② 事務局自身の力量を把握 出来ていない。 ③ 事務局のレベルを上げる 方法が解らない。	① サークルのレベルに合った 教育を提示出来ていない。 ② 必要な教育が解らない。
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ご とに1つを洗い出す	①② サークルレベルを把握し、それに 見合ったイベントを盛り込む。 ③ 自身と会社側で事務局の役割 の認識合わせをする。	① 自身のスキルマップを作成し会社側 が求めるレベルまで上げていく。 ③ 社内・外をベンチマークし良い内容 に対して挑戦してみる。	① 個人レベルまで把握し、それに 合った教育を提示する。 ② 事務局が教育の内容を把握 (亲身体験) してから提示する。

グループ討論振りかえり表

発表資料4
グループ名: **チーム昭和**
(2G)

◆グループ討論を振りかえり

- ・他社の活動で参考になる事が多くあった
- ・事務局として目指す姿が見えてきた
- ・悩みと共有する事が出来た
- ・やるべき事が明確になってきた
- ・取り扱ひ方やスタンスが色々ある事に気付けた

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名(株)トヨタファイニングシステムズ	氏名 岩崎 寛道
情報伝達屋から 推進屋になる様 がんばります	
会社名 オフマ株式会社	氏名 松原道男
推進事務局としてやるべき事が判りました。計画し実行に移します!	
会社名 (株)デンソー	氏名 千葉 明美
柔軟な発想と行動力でチャレンジしていきます	
会社名 日本薬(株)	氏名 高橋 章一
各サークル(チーム)へ やらさず 必要な事は 支援で 取り組むこと	
会社名 (株)アイツン	氏名 上園 辰弥
QCサークルに 寄って 漆工 活動を行う	
会社名	氏名

グループの旗

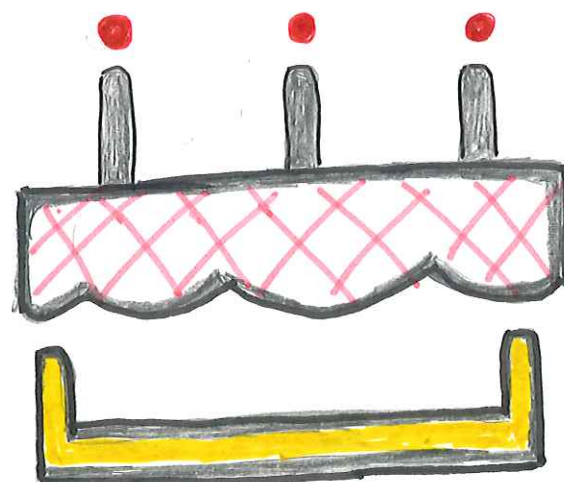
推進事務局コース:

グループNo : 3

グループのネーミング

SMOKKK
(スモーク)

シンボルマーク



発表資料1

グループ名:

2025 年 9 月 24 日 ~ 25 日

チーフアドバイザー

熊谷 哲也

アドバイザー

田村 利明

メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	木下 国大	トヨタ車体
2	時間係	三浦 祐太	豊田自動織機
3	書記1	川口 剛	日東工業
4	書記2	開発 輝一	日本車輛製造
5	発表者	瀬戸口 潤	トヨタ自動車
6	質問者	落合 健太	日本車輛製造
7	5S責任者		
8			

グループの決め事

		評価
①	必ず発言をする。	○
②	挨拶をする。	○
③	否定をしない。	○
④	楽しく笑顔に	○
⑤	エモアを忘れない!	○

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	木下 さん	三浦 さん	川口 さん	関根 さん	瀬戸 さん	落合 さん		キーワード		根拠	選んだもの
①	1	2				1		負担軽減	QCサークル活動のムダを省いて負担を軽減する。	活動時間を確保するため	◎
②	1	1			1			活動の見直し	QCサークル活動の見直しを支援する。		
③	1	1	1	2		1		教育	役割に沿った教育を行う。(自主性)	人が主役だから(人財)	○
④	1				3			やりがい	ほめられることでモチベーションを向上する。		
⑤	1		±3	1		1		方針	推進上の課題をはっきりさせる。		
⑥	1		1	1				環境作り			
⑦		1		1	1	1		信頼関係	事務局とサークル間のコミュニケーションで信頼関係を築く。	やらされ感を軽減するため。	○
⑧						2		視野拡大	社外との交流機会を提供する。		
⑨											
⑩											

活動推進マトリックス表

重要 行動ポイント 活動ステップ	1	2	3
	QCサークル活動のムダを省いて、 負担を軽減する。	役割に沿った教育を行う。(自主性)	事務局とサークル間のコミュニケーションで 信頼関係を築く。
<u>現状の姿</u>	①報告書作りに時間がわかっていない。 ②資料作りに注力している	①教育を受けにこない	①事務局が現場に行けていない ②やりとりが一方通行になっている
<u>問題点</u> (課題) 2つに絞り込む	①デジタルツールはあるが活用されていない ②事務局が活動の目的を明示できていない	①事務局が教育の目的を伝えられていない ②事務局がメンバーに役割を示せていない	①直接サークルと話す機会が少ない ②事務局が受け身になっている
<u>やるべき事</u> (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	①デジタルツールを活用して報告におけるムダを軽減する ②活動内容を評価できるような基準を設ける	①役割りと役割ごとの教育を明確にして説明する ②活動における役割を見える化して、役割ごとの教育が用意されていることを説明する	①事務局がサークル会合に参加して直接支援する ②事務局がサークルとのコミュニケーションの計画を立ててヒアリング機会を作る

グループ討論振り返り表

発表資料4

グループ名: SMOKKK

(39)

◆グループ討論を振り返り

決めたことに対し、メンバーとして全て守ることができた。
特に全員活発な発言があり、積極的なコミュニケーションがとれたことだった。

その他、他社間の困り事の共有と解決に向けての意見出し、議論も盛上がり、大変お互いに刺激となった。

活発な意見交換だけでなく、相手の意見を否定しないことや、笑顔、ユーモアを忘れず楽しくディスカッションができた。

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 トヨタ車体 氏名 木下 国大
QCサークル活動を楽しくやってもらう為に頑張ります

会社名 トヨタ自動車 氏名 瀬戸 潤
相互コミュニケーションで信頼される事務局となる

会社名 日本車輛製造 氏名 開飛 輝一
目的を明確にし、明るく楽しいサークル活動を推進します。

会社名 日東工業 氏名 山口 剛
活動の目的、意義、そして役割をしっかり説明できる事務局になる。

会社名 日本車輛製造 氏名 落合 健太
楽しく活動するため、知識、意識でフォローする。

会社名 豊田自動織機 氏名 三浦 祐太
サークルが活動に活力出来るように行動していきます。

グループの旗

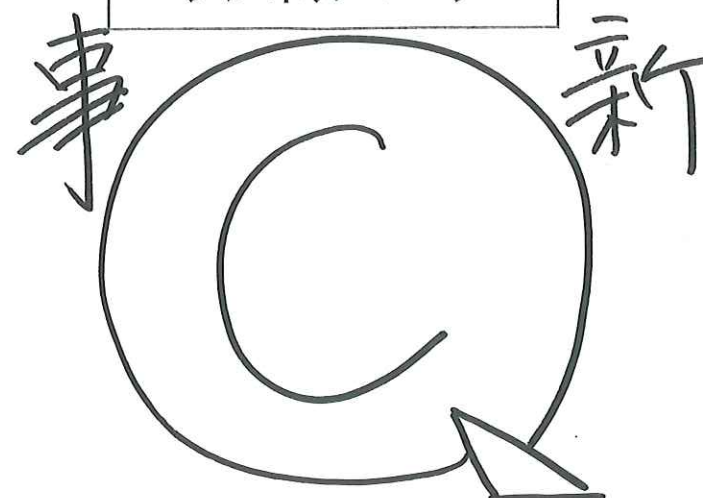
推進事務局コース:

グループNo : 4G

グループのネーミング

事務局新人類

シンボルマーク



2025年9月24日~25日

チーフアドバイザー

熊谷 哲也

アドバイザー

山村・朝倉

メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	石田 幸治	トヨタ車体(株)
2	時間係	山下 敬仁	日本車両製造(株)
3	書記1	河合 公美	フタバ産業(株)
4	書記2	岩田 克	アイシ高丘(株)
5	発表者	壁谷澤 康之	(株)アイシン
6	質問者	石川 陽一	TBロジステクス(株)
7	5S責任者		
8			

グループの決め事

	グループの決め事	評価
①	本音で話す	○
②	積極的に発言をする	○
③	相手を尊重する	○
④		
⑤		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

(4G)

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	石田	山下	河合	岩田	壁谷澤	石川		キーワード		根拠	選んだもの
①	1	1				2		育成	社内教育の資料を準備する	一人の力をつける	○
②	1							参加率	Qcサクルの参加率を向上させる		
③	1							仕事	Qcサクルと仕事の一部と認識させる		
④		1	1		1			本質 (支援体制)	社内Qcサクルの報告書と情報展開する		
⑤				1	1	1		進捗率	活動の進捗を定期的にフォローする	活動力が停滞する	○
⑥		1			1	2		縦 (支援体制)	管理者とのコミュニケーションを向上させる	協力が必要である	◎
⑦				1				時間	サクル活動の時間を確保する		
⑧				1				企画	活動を推進させるための企画をする		
⑨			1			1		評価	定期的に評価する		
⑩	1		1					研修制度	社外研修を企画する		

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動推進マトリックス表

発表資料3

グループ名: 事務局新人類

(4G)

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 管理者との コミュニケーションを 向上させる	2 活動の進捗を 定期的にフォローする	3 社内教育の 資料を準備する
現状の姿	・事務的な連絡事項をおろすだけ ・基本的には事務局より展開・共有を行うが、コミュニケーションは取れていない ・一方通行でコミュニケーションが取れていない ・2回/月 世話人会を行い情報共有の場はあるが特に意見も上がってこない ・サークル側からの声が出てこない ・QCサークルは片手間の作業になっている	・月々の活動計画に対し、進捗フォローができていない ・フォロー体制が整っていない ・計画表を送るだけで理解しているか確認できていない ・進捗が良いサークル悪いサークルは何となく把握している ・相談窓口がない ・そもそも計画がない	・教育資料の準備ができておらずサークルリーダー任せになっている ・準備に携わっていない ・各個人の能力に合わせた教育資料を手配できていない ・各サークルチームの能力が把握できていない ・レベル評価を知らない・していない ・資料をつくる知識がない
問題点 (課題) 2つに絞り込む	①優先順位を 上げれていない ②コミュニケーションを取る 計画ができていない	①フォローする日程を つくっていない ②やれていないサークルの 底上げに対する吸い上げ ができていない	①ニーズに合った資料を つくっていない ②ニーズの吸い上げが できていない
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	①QCに対するメリットを 発信・伝える ②管理者と四半期ごとに コミュニケーションを取る計画を作る	①年間計画を策定し、活動の 進捗を毎月確認する ②やれていないサークルの見える化をして 中間フォローで遅れのある サークルにヒアリング	①ニーズに合った資料を つくる ②レベル把握表やアンケート からニーズを明確化 DXを活用

グループ討論振りかえり表

◆グループ討論を振りかえり

- ・ 決めごとに対しては達成できた
- ・ 各社事務局の立場やQ&Aサークル活動のレベルも異なり議論をまとめるのに苦労した
- ・ 普段目と向けることができていなかったが、やれていないことの多さを痛感した
- ・ やるべきことが見えてきた

発表資料4

グループ名: **事務局新人類**
(4G)

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 **トヨタ車体** 氏名 **石川**

私は、事務局として、管理者とサークルのいっしょ役になり、

会社名 **TBロジスティクス** 氏名 **石川**

事務局内の組織構築(役割)を進める(見直し)

会社名 **日本車両** 氏名 **山本**

やらせ感からの脱却、明るく前向きに取り組む推進する、

会社名 **アイシン高圧** 氏名 **岩田**

ブロック事務局として 計画立てて コミュニケーションを取りながら活動する、

会社名 **フタバ産業(株)** 氏名 **河合**

私は、^{2日間}~~本日の~~研修を活かし推進事務局のありべき姿に近づくよう活動します

会社名 **(株)アイシン** 氏名 **壁谷 澤康之**

事務局としてQ&A活動を盛り上げる為に関係各位と

コミュニケーションを取る、

グループの旗

推進事務局コース:

グループ№5:

グループのネーミング
ムンクの叫び



発表資料1

グループ名: ムンクの叫び

2025 年 9 月 24 日～25 日

チーフアドバイザー
熊谷 哲也
アドバイザー
小林 剛志

メンバーと役割分担			
№	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	田中 典生	ブラザー工業(株)
2	時間係	村上 寿香	トヨタ自動車(株)
3	書記1	千葉 徳光	日本車輛製造(株)
4	書記2	高橋 加那子	(株)豊田自動織機
5	発表者	吉田 幸弘	(株)アイシン福井
6	質問者	村上 寿香	トヨタ自動車(株)
7	5S責任者		
8			

グループの決め事		評価
①	いつも笑顔	○
②	ひとり一言	○
③	発言を否定しない	○
④	ギモンは素直に出す	○
⑤		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	田中	村上	千葉	高橋	吉田			キーワード		根拠	選んだもの
①	○		○	○○	○			教育	役割ごとに見合った教育を実施する		
②	○○	○	○		○○			信頼関係	立場ごとに見合った寄り添い方をする	周囲と信頼関係を築く	○
③		○	○	○○	○			知識習得	事務局の知識を向上させる		
④		○	○○					モチベーション	事務局が熱意を持って行動する	まず“自責”から	◎
⑤		○	○	○				現状把握	現状を見て課題を発見・改善する	問題解決 (信頼関係を築くため)	○
⑥		○○		○	○○			企画力	誰に対しても正しいと 思えることを発言・提案する		
⑦											
⑧											
⑨											
⑩											

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動推進マトリックス表

重要 行動ポイント 活動ステップ	<u>1</u> 事務局が 熱意を持って行動する	<u>2</u> 立場ごとに 見合った寄り添い方をする	<u>3</u> 現状を見て 課題を発見・改善する
<u>現状の姿</u>	② 事務局間で温度差がある ① 熱意はあるが 行動に結びつかない	① 事務局からの一方通行になっている ② 事務局内・部門間の コミュニケーション不足	① 現状把握が出来ていない ② 課題が大きく 良い方策が実現できない
<u>問題点</u> (課題) 2つに絞り込む	② 事務局の役割分担が 明確になっていない(体制) ① 事務局の知識が不足している	① 寄り添い方を知らない ② 事務局に余力がない	① 事務局の勉強不足 ② 課題解決に対する リソース不足
<u>やるべき事</u> (方策) 絞り込んだ2つの問題点ご とに1つを洗い出す	① QCCサークル活動の目的・意義に 対する理解力を深めて 周囲に伝える ② 余力捻出のため、業務のやめかえ 組織の再編成	① 社内外の交流を通して 知見を身につける ② 余力捻出のため、業務のやめかえ 組織の再編成	① 社内外の交流・事例発表会 研修会の参加を通して 知識を習得 ② 業務のやめかえ・組織の再編成 QCCに強い人を他部署からスカウト

グループ討論振りかえり表

発表資料4

グループ名: ムンクの叫び

(5G)

◆グループ討論を振りかえり

- ・色んな立場・レベル感から意見交換が出来た。
- ・一見バラバラな内容に思えても深掘りしてみると親和性があった
- ・あるべき姿がイメージ出来るようになった
- ・交流会・事例発表をきくことが理解を深める近道だと気付けた。
- ・ふせんを使っていろいろな意見を層別する中で問題・課題の切り分けの重要性が確認できた

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 ブラザー工業(株) 氏名 田中典生

全社事務局の業務を明確にする。

会社名 アイシン 福井 氏名 吉田幸弘

部門の推進者として、職場の使命とQCの意義を関連付けて皆の活動を推進する。

会社名 日本車両製造(株) 氏名 千葉徳光

事務局として、熱意をもってQCサークルの活動に参加する。

会社名 トヨタ自動車(株) 氏名 村上寿香

何事も常に前向きな考えと自ら学ぶ姿勢で取り組む

会社名 (株)豊田自動織機 氏名 高橋加那子

事務局として寄り添ってQCサークル活動を推進する

会社名 _____ 氏名 _____

グループの旗

推進事務局コース:

グループNo.6:

グループのネーミング
シックスセンス

シンボルマーク



発表資料1

グループ名: シックスセンス

2025年9月24日~25日

チーフアドバイザー
熊谷 さん
アドバイザー
益永 さん

メンバーと役割分担

No	役割	氏名	会社名
1	リーダー	木村 勝利	東海理化
2	時間係	大徳 栄一	中部鋼鋳
3	書記1	小林 亜海	日本車両
4	書記2	野坂 優介	日本車両
5	発表者	岩切 優志	トヨタ車体
6	質問者	木下 真人	ニッセイ
7	5S責任者		
8			

グループの決め事

	評価
① 人の意見を否定しない	○
② 必ず1回は発言する	○
③ 笑顔で!!!	○
④ 「いいねそれ!」と言う	△
⑤ 適度に休憩をとる	○

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	木村	大石	小林	野坂	岩切	木下		キーワード		根拠	選んだもの
①		✓	✓	✓	✓	✓		困りごと	各サークルの困りごとに対してアドバイスする	アドバイスができていない	○
②	✓	✓		✓		✓		進捗確認	各サークルの進捗状況を確認する		
③		✓	✓			✓		教育	リーダーに対してQC手法を教育する		
④		✓	✓			✓		現状把握	各サークルの実態を把握する	事務局のよりよい不足	○
⑤	✓		✓	✓	✓	✓		モチベーション	QC活動のモチベーションを上げるための環境を整える	QCサークルのモチベーションを上げた	◎
⑥					✓			スキルアップ	事務局のQCレベルを向上させる		
⑦	✓	✓	✓		✓	✓		計画	QC活動の計画立案を推進する		
⑧											
⑨											
⑩											

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動推進マトリックス表

発表資料3

グループ名: シックスセンス (6G)

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 QC活動のモチベーション を上げるための環境を整える	2 各サークルの困りごとに対して アドバイスする	3 各サークルの実態を 把握する
現状の姿	①-QCサークルの会合報告書の作成 がめんどくさい。 (書く内容が多い.複雑) ②.サークル任せになっている(リーダー) 困りごとに対して聞き取りが できていない。	① 事務局メンバーとしてアドバイスする 能力が不足している、 ② 各サークルの困りごとを聞いていない。	① 各サークルの会合に参加していない ② QCサークルレベルの評価が されていない
問題点 (課題) 2つに絞り込む	① 業務が逼迫している状況下で 進捗レポートなどの作成に時間が かかっているため。 ② 各サークルの困りごとを吸い上げ られていない。	①.事務局のQC知識が低くアドバイ スができない。 ② 困りごとを吸い上げる(サークルごとの) 仕組みが無い。	① 各サークルの会合に参加すること になっていないため、把握できない。 ② QCサークルレベルの評価^{方法} が できていない 分らない
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ご とに1つを洗い出す	① QC活動を進める上でのレポート など 提出物を簡素化する。 ② アンケートも実施して担当部門に 結果をフィードバックする。	① 社外研修に参加するなどして、事務局 としてQC知識を身につける。 ② 困りごとを吸い上げて、推進者、アドバイザー に展開する仕組みをつくる。	① 定期的に会合に参加する仕組み をつくり推進者などに^{展開} 参加する ② QCレベル表を展開して各サークル のレベルを把握する

グループ討論振りかえり表

発表資料4

グループ名:

(69)

◆グループ討論を振りかえり

- ・他社の状況を知ることができて参考になった
- ・QC事務局としての仕事がよく分からなかったがあるべき姿を知ることができた
- ・他社も同様の悩みをかかえていることが分かった。
- ・グループの決めごとを守りながら良いGDが行えた。
- ・もう少し内容を深掘りできたら良かった。

◆今後の行動指針(決意表明)

- | | | | |
|---|--------|----|-------|
| 会社名 | 東海理化 | 氏名 | 木村勝利 |
| 事務局としてQC活動の活性化と行い、 | | | |
| 会社名 | ニッセイ | 氏名 | 木下真人 |
| サークルの回り事も把握し、フィードバックする仕組みを作ります。 | | | |
| 会社名 | 中部銅鉄 | 氏名 | 大徳 栄一 |
| 活動状況の現状を把握する為、話を聴く時間を作る。 | | | |
| 会社名 | 日本車輛製造 | 氏名 | 小林 亜海 |
| 各サークルからの相談に対して
サークルが求めている情報を、サークルのレベルにあわせて提供できるようにする | | | |
| 会社名 | トヨタ車体 | 氏名 | 岩切 優志 |
| 事務局として各サークルに寄り添い、アドバイスできるようにする | | | |
| 会社名 | 日本車輛製造 | 氏名 | 野坂 優介 |
| 各チームの進捗、困りごとを把握し、適切なアドバイスできるようにする | | | |

グループの旗

推進事務局コース:
グループNo : 7

グループのネーミング
7G サミット



発表資料1

グループ名: 7G

25年 9月24日~25日

チーフアドバイザー
熊谷 哲也
アドバイザー
吉田 勇治

メンバーと役割分担			
No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	渡辺 稔	豊田自動機(株)
2	時間係	中村 匠吾	日本車輛製造(株)
3	書記1	多田 恵美	トヨタ車体(株)
4	書記2	小林 正路	株 アイシン福井
5	発表者	鈴木 博之	GKNドライブシャフト(株)
6	質問者	鳥井 宏昌	トヨタ自動車(株)
7	5S責任者		
8			

グループの決め事		評価
①	全員発言する	○
②	出た意見に対して否定しない	○
③	決められたルール・時間を守る	○
④		
⑤		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	渡辺	中村	多田	小林	鈴木	鳥井		キートン		根拠	選んだもの
①	/				/			計画	Q.Cサクルの活動を計画する		
②	/	2			/	/		教育	リーダーの教育を実施する	リーダーのレベルも上げる	○
③	/			2				信頼	全社員の信頼を獲得する		
④	2		2		2	/		支援	活動の支援を実施する	支援する事で教育ができて活性化が図れる	◎
⑤			/	/				教育	事務局の知識を向上する		
⑥					/	/		活性化	Q.Cサクル活動の活性化策を 考える	活動を停滞させない	○
⑦		5	2		/	/		向上策	サクルレベルの向上を考える		
⑧					表	表					
⑨											
⑩											

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動推進マトリックス表

発表資料3

グループ名: 7G

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 活動の支援を実施する	2 リーダーの教育を実施する	3 Q&A サークル活動の 活性化策を考える
<u>現状の姿</u>	- 事務局として各サークルごとの活動を把握していない - 事務局として何を支援すればいいかわからない	- 教育計画がない - Q&A活動の手法とストーリーの知識が浅い - 教育計画がない	- Q&A活動の活性化ができていない - サークルリーダーなどへの教育は行っていない(教育計画なし) - 活動の活性化策を考えず、現状維持のみ実施事務局か
<u>問題点</u> (課題) 2つに絞り込む	- 事務局が活動を把握しておらず、何を支援してほしいかわからない - 事務局が支援策を学んでいない	- 事務局の知識が浅い 学んでいない - 教育を計画的に実施していない	✓ 活性化の方策を考えていない ✓ 活性化の必要性を把握していない
<u>やるべき事</u> (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	- 推進者へのヒアリング実施し困りごとを把握する - 支援策を主体的に学ぶ	- 必要なところに主体的に学ぶに行く - 関係者と年間計画を合意する	- 他社の良い事例から学ぶ 実証する - 活性化策が必要かヒアリングし策について一緒に考える 推進者

グループ討論振り返り表

発表資料4

グループ名:

(7G)

◆グループ討論を振り返り

- ・グループの決め事は全員、しっかり守れた。
- ・リーダーのおかげでスムーズに議論できた。
- ・他社の活動や話が聞けて参考になった。



自社に持ち帰り活動につなげていく。

- ・楽しく議論できた。

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 トヨタ車体(株) 氏名 多田 恵美

- ・職場の推進者に任せきりにせず主体的に現活動に加わり追加する

会社名 日本車輛製造(株) 氏名 中村 匠吾

- ・事務局として、推進者、リーダーに適切なQ&Aの活用も任せる

会社名 豊田自動織機(株) 氏名 渡辺 純

- ・専任のQC事務局として今以上にサポートしていきます。

会社名 (株) アイシン 氏名 小村 正路

- ・これから事務局をするにあたり関係者と話し、困りごとを聞いて力から進めます

会社名 トヨタ自動車(柳田原工場) 氏名 鳥井 宏昌

- ・推進者やメンバーが、求めている支援を、洗い出し事務局として、いっしょに取り組んでいきます。

会社名 GKNドライブシャフト(株) 氏名 鈴木 博之

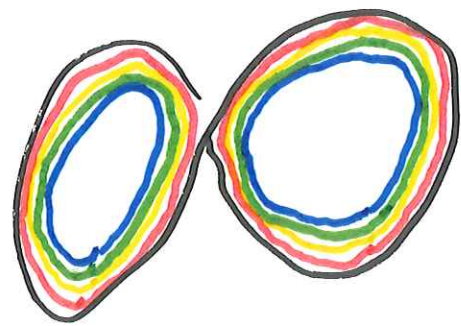
- ・事務局として支援の大切さを学びました。試みを実践していきます。

グループの旗

推進事務局コース:

グループNo : 87

グループのネーミング
無限大

シンボルマーク


発表資料1

グループ名:

2025 年 9 月 24 日 ~ 25 日

チーフアドバイザー
熊谷 哲也
アドバイザー
熊谷 賢一

メンバーと役割分担			
No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	角谷 隆弘	(株) アイシン
2	時間係	—	
3	書記1	外山 徳彦	(株) デンソー
4	書記2	森本 知希	日本車両 (株)
5	発表者	西 伸祐	トヨタ車両 (株)
6	質問者	川井 清晴	トヨタ自動車 (株)
7	5S責任者	—	
8			

グループの決め事		評価
①	発言は否定しない	○
②	1チーム1発言	○
③	相手のことを思った説明	○
④	分からないことはその場で聞く	○
⑤	時間内に完了	△

(※評価は、○、△、×等で記入する)

推進事務局のあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える推進事務局のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	角谷	外山	森本	西	川井			キーワード		根拠	選んだもの
①	2	2	1	1	1			階層別の人材育成	推進者・支援者の教育をある	レベルの底上げである	○
②	1	1	1	1	1			困りごとの吸収	チームの困りごとを吸収し上げる	活動も活性化させるためである	○
③	1			1				環境整備	活動時間確保に向けた推進者への働きかけ		
④		1			1			教育・研修大会	研修・大会への参加を促す		
⑤			2	1				情報共有	情報共有する場を設ける		
⑥				1	1			現状把握フォロー	現状把握し、推進者・支援者をフォローする		
⑦		1			1			計画	計画通りに活動を推進する	目標を達成できているためである	◎
⑧			1					やる気	関与した全員のやる気を引き出す		○
⑨											
⑩											

活動推進マトリックス表

発表資料3

グループ名:

無限ス

(89)

重要 行動ポイント 活動ステップ	1	2	3
現状の姿	① 計画通りに活動を推進する ② 提出物が事務局が フォローしないと出てこない	① 推進者・支援者の教育がある (区上げ) ② 推進者・支援者に やるべきことを 伝えられている	① サークルの団リジンを吸い上げる ② 実現の難しい案件は ただ聞くだけにする
問題点 (課題) 2つに絞り込む	① 自身がフォローしていない → なんとかしてほしい ② 各サークルの進捗管理 ができていない	① 支援者・推進者が教育 に参加する環境づくり ができていない ② 事務局が指導できる スキルを身につけていない	① 団リジンを吸い上げる 意識が自分に不足している ② 団リジンについて解決 できるスキルがない
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ご とに1つを洗い出す	① フォロー計画を立て スケジュールに組み込む ② 支援者・推進者を意識させる 仕組みをつくる	① 教育に参加する仕組みをつくる (必要に応じて部署長に 働きかける) ② 推進者・支援者の教育に参加 展開する	① 推進者・支援者が体系的に 吸い上げる仕組みをつくる (先ずは自分が現場へ足を運ぶ) ② アドバイスするための 引き出しを増やす (経験者)

グループ討論振りかえり表

◆グループ討論を振りかえり

- 、事務局としての役割を改めて理解した
- 、事務局の脳みそ共有できた(国司さん)
- 、脳みそに対する解決策・アイデアを議論でき、勉強になった

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 (株) アイシン	氏名 角谷隆弘
サカシに引越した推進事務局でがんばります。	
会社名 (株) トヨタ自動車	氏名 川井清晴
相手の気持ちを知り寄り添って活動を進めます!	
会社名 (株) イーシー	氏名 外山徳彦
今日の学びを職場へ持ち帰り活かしていきます	
会社名 トヨタ車体(株)	氏名 西 伸祐
みんなが気持ち良く活動できる環境づくりに取り組む	
会社名 日本車両(株)	氏名 森本知希
事務局として、関係者を巻き込み、活動を活性化させる。	
会社名	氏名